

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和2年3月31日

事業所名 はぐはぐ子ども村高鍋

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	昨年工事をを行いプレイルームが広がった。	園内、外共に活動スペースは十分確保できている。
	2	職員の配置数は適切である	5	0	人員は満たしている。指導員加算対象者もいる。	現状維持。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1	肢体不自由児童は利用していない。体幹の弱い児童で必要に応じてスロープなど使用し個別に対応している。スロープ設置あり。車いす利用児の送迎車1台あり。	現状維持。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	毎日職員間で情報を共有している。	各職員が意見を出しやすい環境づくりに励んでいる。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1	昨年度(30年度)より実施している。	実施後、文書などで改善できる回答書等を昨年より発信している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1	昨年度(30年度)より実施しHPにて公開している	HP公開案内を文書で発進した。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2	昨年より保護者評価を開始した。	利用者の方の貴重なご意見をふまえ、改善できる部分は積極的に検討しながらPDCAサイクルがより円滑になるよう取り組んでいきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1	外部の研修の他、事業所内でケース会議、虐待防止研修会などを行い質の向上につとめている。	研修内容を職員間で共有をし日々の療育に反映していく。

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	保護者、各療法士、保育士などの意見を聞き、計画を作成している。	現状維持。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2	アセスメント用紙を使っている。	今後も使用を継続していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	無回答1 季節に合わせた活動計画を行い日々話し合い企画している。	基本のプログラムを基準に制作、季節に合わせた活動計画を全員で検討していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	無回答1 その時々状態に合わせて職員間で話し合い各療法士のカンファレンス内容も取り入れて個別に合ったプログラムを計画している。	今後も職員間の密な話し合いを継続していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2	職員間で話し合い共有している。	朝礼、夕礼、ケース会議等で職員間で共有していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	変化に応じて対応している。	今年度は太鼓、リトミック等の課題を取り入れ発表したり、専門講師を招いて小集団の中での活動をもりあげることができている。年度の後期に入り子ども達が意欲的に取り組むことが増えた。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	2	児発管がこまめに伝えている。送迎などに出る指導員もいる為、全員で支援開始前に必ず確認し合うことは難しい。送迎担当以外では事前に打ち合わせをする事は多い。	現状維持。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	振り返りを行いその後の支援に役立てている	現状維持。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	毎日の記録をとり、支援計画に盛り込んでい	現状維持。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	できてきた支援に対して次にできる事の話し合いを行っている。	毎日の夕礼や、ケース会議で日々個々の課題を把握し計画の見直しの必要性を判断している為、現状維持とする。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	組み合わせる様にしている。	現状維持。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1	保護者、相談支援員、児発管、その他必要に応じて学校の担任や特別支援担当等参画している。	現状維持。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	1	報告が入った場合にはすぐに職員間で共有をしている。	基本急な下校時間の変更などは保護者からの連絡を待つことになっているが、学校の急な変更事項などは連絡がくるような良好な関係を築いていくよう努力していく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	×		該当児童なし	該当児がいた場合は保護者の了解を得て主治医との情報共有を図りたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	×		該当児童なし	現状維持。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	1	無回答1 情報共有している。	保護者の了解を得て必要に応じて情報共有はしていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	同法人に児童発達支援センターがある為、助言をもらっている。	今後も相談を続けながら助言を受けて運営していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	3	無回答1 同法人の日中一時支援の児童との交流はある。	交流がもてるよう検討してみる。日中一時の子ども達とは、送迎に時間を要するため平日の交流は難しいが、長期休みなどは合同でレクリエーションをしたり、異年齢交流もできる場となっている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	2	無回答2 代表者か児発管が参加している。	現状維持。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	1	今後もよく話し合い、情報共有して共通理解を深めていく。	現状維持。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	2	無回答1 面談時やその都度保護者の方が悩んだ時に、直接またはメールや電話にて対応の仕方の方をお伝えすることはある。	昨年まで代表の実施していた保護者向け講座を案内していたが、今後は各事業所で検討していく必要がある。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	1	契約時に丁寧に説明している。また、玄関にいつでも見ることができるようファイルして設置している。	契約時、個別支援計画の見直しでの面談時以外にも、随時要望に合わせて対応できるようにしていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1	保護者からの相談があれば、その都度迅速に行い心理士にも相談したり面接が出来るよう予定を組むなどしている。	現状維持。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3	無回答1 保護者懇談を毎月組んでいるがお仕事されている方も多く連携を支援しきれていない。年2回の合同行事は交流の場になっている。	年に2回の合同行事が保護者の出会いの場となっている。継続をしていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	情報を集め、迅速に対応している。	小さなけがなどでも保護者の方へ状況説明をしている。連絡が遅くならないよう努力していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	毎月おたより、年に一回ニュースレターを発行している。	保護者評価アンケートによる回答、結果等をHPの紹介以外に文書にて発行を考えている。
	35	個人情報に十分注意している	5	0	細心の注意をしている。	現状維持。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	お迎えの時に情報交換をしたり困る語と聞く事がある。	現状維持に加え、メールや電話でも対応をしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	0	合同行事への声かけや、地域の方などに案内をしている。	案内文書を直接持って行ったり、送ったりして招待をしている。今年度も子ども祭りには地域の方や関係機関の方が参加して下さい感謝している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0	毎月訓練を実施している。避難マニュアル作成、送迎時の高台マップや対応を車にのせている。	地震、津波、土砂災害などの避難場所などは契約時と年度初めに文書で保護者へ発信をした。防犯、感染症についての周知は説明不足の為、今後改善していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	12月にAED訓練を実施、10月に消化訓練実施	毎月、地震、火事、土砂災害、風水害等計画に加え、今年度は消化訓練、AED訓練を行った。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	全職員が順番で県主催の研修に参加し、各事業所で勉強会をしている。	研修後、事業所内で毎年勉強会をしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1	保護者にもやむなく拘束することがあることを伝え、場面が生じた場合には保護者に状況を伝える様にしている。必要によっては個別支援に記載する。	必要に応じて計画に記載をする。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2	保護者と直接のやり取りした情報を、職員間で共有し、全員で確認できるよう目立つ場所に設置し毎回確認できるよう取り組んでいる。	保護者からの相談があれば職員間で共有し対応していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	ヒヤリハットの報告書の作成をし、全体で共有し事故防止につとめている。	現状維持に加え全体での共有を徹底していく。